

# Newsletter

Vol. 17



チュラロンコン大学 - 東京医科歯科大学  
研究教育協力センター

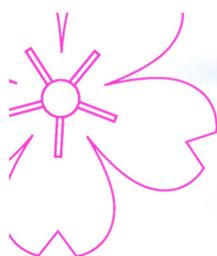


**CU-TMDU Research and Education Collaboration Center, Thailand**

**September 30th, 2021**

## 目次:

① 改善の期待	1
② タイにおけるCOVIDの状況	2
③ 2021年4月第2期生の入学	3
④ 第1期生コースワーク修了・論文企画審査	3
⑤ JDPのHPリニューアル	4

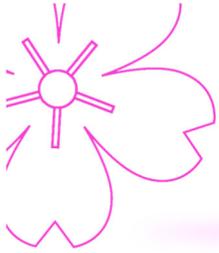


## ① 改善の期待

**新**型コロナウィルス感染症の拡大は、終息の兆しがなかなか見えない日々が続いております。前回のニュースレターの時には、第3波の訪れでありましたが、その後に4波、5波と、寄せては返す波のように現れ、その大きさは次第に大きくなっていました。東京では7月から9月にオリンピック、パラリンピックが開催されましたが、我々の日常生活の状況はまだ改善には至っていない状況です。しかし、日本ではワクチンの接種率が上昇しておりますことから、今後の状況の改善が期待されます。統合国際機構として、ジョイント・ディグリー・プログラム（JDP）の学生の本学での学習機会をどのように確保していくかを最優先に、関係省庁からの連絡に基づき検討しています。来年度からの学生の派遣や受け入れについては、感染状況の見通しが十分ではないため、なかなか決定には至っていません。

このような中でも、JDPの学生の確保や、将来にわたっての国際交流の継続は非常に重要な課題であります。統合国際機構では、JDPについてのHPの作成をおこなってまいりました。また、大学の紹介ビデオも作成しました。さらに、本学に留学している学生に国際交流広報アソシエイトになっていただき、母国の学生に本学を紹介していただくことにしました。現在の国際交流が限られた状況こそ、今後も交流の準備を進めていくことが重要だと考えています。■

✧ タイ拠点運営管理者 臨床解剖学分野 教授 秋田 恵一



## ② タイにおけるCOVIDの状況

コロナウイルス感染症の流行第3波を迎えているタイで、今年の4月からコロナウイルスの感染者は連続的に増えている状況になっています。

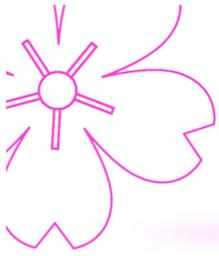
タイ政府は新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、非常事態宣言を発令し、バンコクとその近郊都市などは夜間外出禁止や移動制限で、ロックダウンの状態に置かれています。さらに、新型コロナウイルス感染による重症化および死亡する患者を減らすため、ワクチン接種の迅速化や効率的なワクチンの調達などに取り組んでいます。2021年9月上旬現在では、1日当たりの新規感染者数は平均で1万3000人前後となり、連日2万人を超えていた8月中旬に比べて少し減少傾向にあります。

タイの入国規制については去年と変わらず、全ての渡航者はタイ入国後の14日間隔離と入国前に入国許可書（COE）の取得が必須です。一方、今年の7月1日よりタイ政府は隔離措置免除の観光復興プログラム「プーケット・サンドボックス」を実施しています。ワクチン接種完了済みなどの一定条件を満たす外国人観光客は、プーケット国際空港からタイへ入国する場合に限り、隔離なしでプーケット島に滞在することができるようになりました。14日間以上プーケット島滞在后、所定のPCR検査で陰性であれば、タイ国内の他の地域への移動することが可能となります。■

✧ チュラロンコーン大学 客員講師 Issareeya Ekprachayakoon



新型コロナワクチン接種のスピードを加速させるために、医療資格を持つ訓練されたタイ歯科医師たちは「注射ボランティア」としてタイ国民にワクチンの注射を担っています。



## ③ 2021年4月第2期生の入学

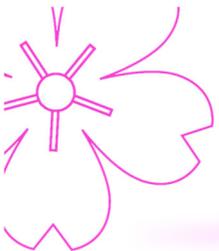


入学ガイダンスの様子

**東** 京医科歯科大学・マヒドン大学国際連携医学系専攻（以下マヒドン大学JDP）の2021年4月入学者選抜試験には5名が出願しました。同年1月20日に、マヒドン大学及び東京医科歯科大学による合同面接試験が行われ、当専攻の第2期生として3名が合格しました。第1期生3名全員がマヒドン大学出身だったのに対し、今回合格した第2期生は3名のうち2名がマヒドン大学以外の出身者であり、当専攻への関心がタイ国内の外科分野で徐々に広がっていることがわかります。

5月28日には入学ガイダンスが行われ、本学からプログラム責任者である秋田教授と田邊教授が参加いたしました。第2期生3名は教員から学位取得に向けたアドバイスを受け、自身の研究課題を見据えながら当専攻のスタートを切ることとなりました。■

✧ タイ拠点運営管理者 臨床解剖学分野 教授 秋田 恵一

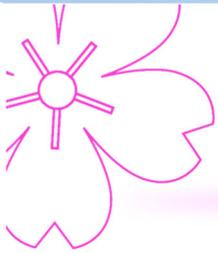


## ④ 第1期生コースワーク修了・論文企画審査

**マ** ヒドン大学JDP 2020年4月入学第1期生3名は、入学直後に新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けましたが、当初の予定を組み替え、さらにオンラインツールを利用して科目の履修を進めた結果、カリキュラム通り2021年6月に全てのコースワークを修了しました。

第1期生3名はその後、9月にマヒドン大学での進級試験に合格し、10月に当専攻初となる論文企画審査を受審します。論文企画審査は、博士論文の作成を行うにあたり、思考過程を表現する能力、分析力、問題解決能力を備えており、自力で研究を構築する準備が整っていることを確認することにあります。第1期生3名は、自身の研究課題及び研究計画のプレゼンテーションを行い、マヒドン大学及び東京医科歯科大学の指導教員により構成された評価委員から今後の研究活動に生かすためのアドバイスを受ける貴重な機会となります。■

✧ タイ拠点運営管理者 臨床解剖学分野 教授 秋田 恵一



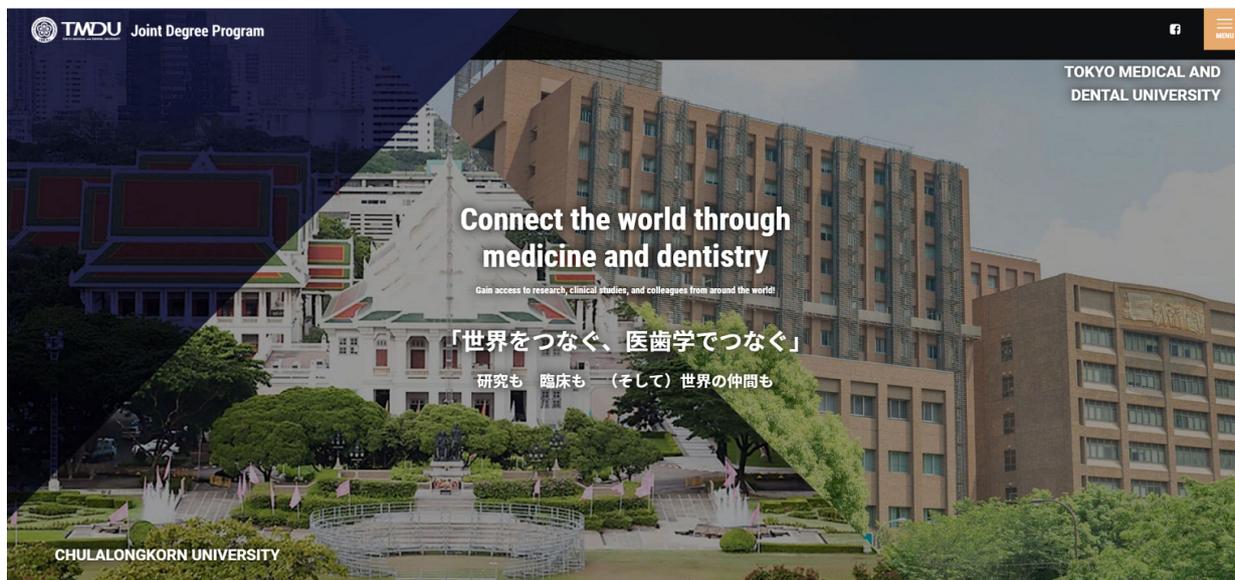
## ⑤ JDPのHPリニューアル

**東**京医科歯科大学が国際連携大学（チュラロンコン大学、マヒドン大学、チリ大学（チリ））とそれぞれ共同で単一の学位を授与するジョイント・ディグリー・プログラム（JDP）のホームページがこの度リニューアルしました。

各プログラムの概要、カリキュラムや魅力、学生及び教員のメッセージ動画やインタビュー記事などが掲載されていますので、本学のグローバル教育に興味のある方は是非ご覧ください。■

URL : <https://www.tmd.ac.jp/cmn/jdp/>

\* 統合国際機構 国際交流課 JD・MPH係



JDPのHPのHOME画面の様子

【発行日】 2021年(令3年) 9月30日

【制作】 国立大学法人 東京医科歯科大学

統合国際機構国際交流課総務係 (E-mail: kokusai.adm@tmd.ac.jp)

[https://www.tmd.ac.jp/international/globalization/tmdu\\_international\\_collaboration\\_centers/thai/](https://www.tmd.ac.jp/international/globalization/tmdu_international_collaboration_centers/thai/)

【本学タイ拠点所在地】

CU-TMDU Research and Education Collaboration Center,  
11F Navamaracha Building, Faculty of Dentistry, Chulalongkorn University,  
Henri-Dunant Rd. Patumwan, Bangkok, Thailand